

水力地點ノ説明

順位八三六 大字比津ニテ右岸ニ取入レ開渠延長三、一
二〇間ニテ大字小西ニ發電所ヲ設ケ本流ニ放水ス、電力ハ
久居町、松坂町ニ供給スルヲ最便トシ其ノ距離約一三哩ト
ス、交通ノ便ヲ缺キ工事材料ノ運搬ニ困難ナルヘシ、流木ニ
對シ多少ノ考慮ヲ要ス

順位八三七 大字小西附近ニテ取入レ開渠約二、六〇〇
間ニテ水槽ニ導キ大字竹原ニ於テ本流ニ放水ス、電力ハ松
坂町ニ供給スルヲ便トシ其ノ距離約一一哩ナリ

順位八三八 入手俣川合流點ヨリ右岸ニ取入レ開渠二、
五五〇間ニテ大字南家城ニ導水シ本流ニ放水ス、電力ハ松
坂町ニ供給スルヲ便トス其ノ距離約九哩トス、流木ニ對シ
相當ノ設備ヲ要ス、陸運ノ便アリテ材料運搬容易ナリ

順位八三九 大字南長野ヨリ左岸ニ取入レ開渠二、二〇
〇間大字五百野ニ發電所ヲ設ケ長野川ニ放水ス、電力ハ久
居町ニ供給スルヲ最便トシ其ノ距離約五哩トス

順位八四〇 大字合ヶ野ニテ右岸ニ取入レ隧道七二〇
間開渠二、八二〇間ヲ以テ導水シ大字宮野ニ於テ中村川ニ
放水ス、電力ハ松坂町ニ供給スルヲ便トシ其ノ距離約八哩
ナリ

第七章 櫛田川水系

一、流域

全面積

二九七方里

内 山地

二四二方里

平地

五五方里

利用シ得ヘキ面積

二五七方里

地勢

本川流域ハ三重縣飯南郡ノ大部及多氣郡ノ一少

部ヲ占メ形狀恰モ帶ノ如ク全延長約二〇里幅員僅ニ平均

二里半内外ニシテ西ハ高見山ノ連峰ヲ以テ吉野川ト境シ

南ハ池ノ木屋山、迷嶽等ノ群山重疊ニヨリ宮川流域ニ接シ

北ハ三峰山、局ヶ嶽等ヲ連ネテ雲出川流域ニ隣接ス、流域南

西ヨリ北東ニ傾キ水源地方ヲ除キ地勢甚シク急峻ナラス

地質

流域内ノ地質ハ大略粥見村上流部ノ古生層ト其

ノ下流部ノ片麻岩トノ二地帯ニ區分セラレ河口ニ少許ノ

沖積層ヲ見、岩質一般ニ脆クシテ軟弱ナリ

林野狀態

林相稍良好ニシテ就中針葉樹林ニ富ミ杉檜

ヲ主ナルモノトス一箇年ノ伐採數量六十二萬石ヲ算スレ

トモ目下植林事業ノ獎勵セララルニヨリ將來見ルヘキモ

ノアルヘシ、植林ハ杉、扁柏ヲ主トス。水力利用範圍ニ於ケル林種別ヲ示セハ次ノ如シ

種類	全反別	立木			樹種	樹齡概況
		針葉樹林	闊葉樹林	針闊混森林		
私有林	二七、二九五、六五	一〇、六七七、七〇	七、三七六、六五	七、二九三、三〇	杉、檜、松、樺	二十年以上七割 四十一年以上一割
公有林	七、八〇七、九〇	二、九五〇、六〇	二、〇二五、三〇	一、五七九、五〇	杉、檜	二十年以上四割 二十年以上五割 二十年以上三割
社寺有林	一五九、三〇	五三、五〇	一六、八〇	七四、五〇		四十一年以上三割
計	三五、二六二、八五	一三、六八〇、八〇	九、四一八、七五	八、九四七、三〇		

二、河川狀況

本川ハ源ヲ高見山ニ發シ波瀨川トナリ東流スルコト約四里ニシテ森林ニ於テ蓮川ヲ容ル、七日市ニ至リ流路ヲ東北東ニ轉シ宮ノ前村、大石村等ヲ過キ相可町ニテ平野ニ出ツ、相可町附近ニテ本川ハ二ツニ分レ本流ハ北ニ向ヒ豊原ヲ過キテ松名瀨ニ至リ分派川、祓川ハ東北東ニ流レ北藤原ニ至リ共ニ伊勢灣ニ入ル。本川ハ沿岸急峻ニシテ數十尺ノ絶壁ヲナス、流域ハ狹長ニシテ水源山嶽ノ傾斜急ナルヲ以テ一朝豪雨至レハ直ニ急激ナル増水ヲ來ス

流量ノ變化 測水所ノ設置ナク詳述シ難キモ舊臨時發電水力調査局ニテノ調査及宮川測水所ニ於ケル實測結果ヲ参照スレハ四季ヲ通シ流量ノ變化少ク平水ハ流域一方里當二〇個ヲ降ラス渴水期ト雖尙一〇個ヲ有スル如シ

利用シ得ヘキ範圍 津田村ヨリ上流森林ニ至ル約十五里ノ間ニシテ其ノ落差約七三〇尺トナス

三、治水及水利事業 本川ハ兩岸高ク水面低キヲ以テ灌溉用水關係ノ繁ヲ見サレトモ今其ノ二三ヲ擧クレハ左ノ如シ

灌溉用水調

用水名	取入口	灌溉反別	灌溉町村	所要水量(噸)
岩口井出	三重縣飯南郡森村浦下木	一四町	飯南郡森村地内	二
大俣井出	三重縣飯南郡森村平瀨	一四町	飯南郡森村地内	二
宮本井出	三重縣飯南郡森村鹽瀨	一五	飯南郡川俣村地内	二
立梅井出	三重縣多氣郡朝見村立梅	四〇〇	多氣郡丹生村地内	三五

備考 立梅井出用水路ノ一部ハ水力許可地點ニ屬シ水利組合ハ丹生村長ノ管理ニ屬ス

舟筏及流木ハ四季共ニ行ハルルモ十一月ヨリ二月ニ亘リ最盛ナリ而シテ一箇年ノ筏流概數八〇〇坪、流木約三七、〇〇〇オニシテ材種ハ杉ヲ第一トシ檜之ニ次ク

漁業ハ概シテ見ルヘキモノナク唯鮎ノ漁期ニ稍盛ナリ

本川ニハ河川法ヲ準用セラレ右岸ハ三重縣多氣郡相可町大字相可字町屋熊野街道以下、左岸ハ飯南郡射和村大字射和字里中熊野街道以下共ニ海ニ至ル間トス

許可水力地點トシテハ三重合同電氣株式會社ノ五箇地

柳田川水力地點表

順位ニシテ附セルハ許可地點ト關係アリ
水量落差ニシテ附セルハ概數ナリ

順位	河川	番地點	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	巨水長路	面積域	能發電率	年平均馬力數	等級
八四一	蓮波瀨川	一	三重縣飯南郡森村、森青田川落合、乙栗子	同森波瀨川落合	洪水*八四 低水*一四四 平水*二三三	*九五	八八六 一五一八 二四四六	5,000 5,000 5,000	10,000 10,000 10,000	100.0 92.3 81.0	八六六 1,310 1,700	丙
八四二	蓮青田川	番外一	三重縣飯南郡森村、森山、森青田	同森青田川落合	洪水*四二 低水*七二 平水*一一六	*一〇九	五〇八 八七一 一四〇三	3,000 3,000 3,000	10,000 10,000 10,000	100.0 92.3 81.0	五〇八 八三三 1,150	丙
八四三	柳田川	番外二	三重縣飯南郡森村、波瀨川落合	同郡栗野川俣村	洪水*一〇六 低水*一八二 平水*二九四	*六三	七四一 一、二七三 二、〇五六	3,000 3,000 3,000	10,000 10,000 10,000	100.0 92.3 81.0	四六一 1,199 1,626	丙

點アリ其ノ内三箇地點ハ既設發電所ニシテ他ハ工事未著手ニ屬シ其ノ總馬力數六、〇一三ナリ

四、水力地點 本川ニ於ケル水力地點ノ分布ハ津田村上流部一帶ニ亘リ其ノ全馬力數八、三四一、地點數八トス

右ノ内選定地點數ハ六箇所ニシテ其ノ全馬力數ハ渴水量使用ニテ約五、二〇〇馬力トシ、渴水使用ニテ一、〇〇〇馬力以上ノ地點一箇所之ニ滿タサルモノ六箇所トス

順位	河川	番地點	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	巨水長路	流域面積	發電率	年平均馬力數	等級
八四四	同	番外三	三重縣飯南郡川俣村 栗野九曲	同郡川俣村 田引	湯水*二二九 低水*二二〇 平水*三三七	*三七	五三〇 九〇四 一四六六	二七〇〇	二一六〇	100.0 94.2 81.0	五〇〇 八五二 11011	丙
八四五	同	二	三重縣飯南郡宮前村 宮前	同郡彌見村 北出	湯水*一五三 低水*二六三 平水*四二五	*五五	九三四 一六〇六 二五九五	四1100	二五〇〇	100.0 94.2 81.0	九四三 一五三三 二1111	丙
(八四六)	同	三	三重縣飯南郡彌見村 立梅	多氣郡五ヶ谷村 片野	湯水*一八四 低水*三一五 平水*五〇九	*七九	一六二三 二七六二 四四六三	四1100	一八〇〇	100.0 94.2 81.0	一六三三 二六〇二 三六〇〇	乙

水力地點ノ説明

順位八四一 取入口ヲ波瀨川及蓮川ノ二箇所ニ有シ之ヲ飯南郡森村大字森地先ナル波瀨川合流點附近ニ導キ榑田川本流ニ放水ス。發生電力ハ松坂町及相可町ニ供給スルヲ便トシ其ノ送電距離約二三哩ナリ。河川ハ流木多量ナルヲ以テ之ニ對シ相當考慮ヲ要スヘキモノアラン。該地點ハ水源僻陬ノ地ニアリテ交通ノ便ヲ缺キ工用諸材料ノ運搬ニハ相當困難ヲ感スヘシ

順位八四二 前地點ト同様其ノ取入口ヲ蓮川及青田川ノ各川ニ有シ水路ノ延長約三、〇〇〇間ニテ大字森村地先

ナル青田川合流點ニ導水シ榑田川本流ニ發電放水ス。發生電力ハ松坂町ニ供給スルヲ便トシ其ノ送電距離約二五哩トス。前地點同様交通運輸ノ便惡シク工用諸材料ノ運搬至難ナルヘシ

順位八四三 青田川合流點ヨリ右岸ニ取入レ大字栗野字九曲ニ發電所ヲ設ケ本川ニ放水ス。電力ハ松坂町ニ供給スルヲ便トシ其ノ距離約二〇哩ナリ。流木ニ對シ相當ノ設備ヲ要スヘシ。本地點ハ選定後一部三重合同電氣株式會社ニ許可セラル

順位八四四 取入口ヲ左岸ニ選ヒ河川ヲ橫斷シテ堰堤

ヲ設ケ隧道全延長四八〇間開渠一、九二〇間ヲ以テ伊勢電氣鐵道株式會社ノ既設取入口附近ニ放水ス、電力ハ松坂町ニ供給スルヲ最便トシ其ノ距離一八哩トス、河川流木アリ

順位八四五 本地點ハ大字宮ノ前ニ於テ左岸ニ取入口ヲ設ケ大字北出ニ導水シ發電所ヲ設ケ本流ニ放水ス、電力ハ松坂町ニ供給スルヲ最便トシ其ノ距離一五哩ナリ、附近和歌山街道開ケ材料運搬ニ便ナリ

順位八四六 立梅井出ヲ改修シテ發電スルモノニシテ開渠三、八一〇間隧道三九〇間ヲ以テ大字片野ニ水槽ヲ設置シ放水ハ下流耕地ノ灌漑ニ充ツルモノトス、之カ灌漑用水量三五個ナリ、電力ハ松坂町ニ供給スルヲ便トシ、其ノ距離一〇哩ニシテ工事容易ナリ、本地點ハ選定後許可トナル

第八章 宮川水系

一、流域

全面積

五五二方里

内 山地

四九三方里

平地

五九方里

利用シ得ヘキ面積

三九九方里

地勢 流域ハ伊勢國ノ南部ニ位シ其ノ範圍ハ多氣及度會兩郡ノ大部ニ跨リ流域形狀狹長ニシテ北方榑田川流域ニ並ヒテ南西ヨリ北東ニ向テ延フ、流域ノ西縁ハ大臺ヶ原山、三津河落山及池ノ木屋山等ノ峻嶺ニヨリ大和國ト境シ南ハ山嶽、丘巒聳起シ其ノ南半山腹ハ次第ニ低降シテ紀伊灘ニ盡ク

地質 流域内部ノ地質ハ殆ト全部古生層ニ屬シ河口ニ少許ノ沖積層ヲ存シ岩質一般ニ軟弱ナリ

林野狀態 流域内林相良好ニシテ大杉谷村ノ大部、領内村、三瀬谷村及七保村ノ各一部ニ御料林アリ其ノ反別約一五、〇〇〇町歩ニシテ概シテ針澗混淆樹林ニ富ミ杉材ヲ主トシ檜材之ニ次ク現今杉、扁柏等ノ人工植林盛ニ行ハル

利用スヘキ範圍ニ於ケル林種別ハ次頁ニ示セル如シ

二、氣象 中流部ノ天ヶ瀬雨量觀測所及下流ノ山田觀測所ノ觀測ノ結果ヨリ推測スレハ流域ハ地形錯雜シテ降水量ノ分布モ一様ナラサントモ大略高度ト共ニ之ヲ増シ沿海地方ノ山田市附近ノ年降水量二、四六〇耗ニ對シ天ヶ瀬附近ニテハ二、八〇〇耗ヲ算フ。降水量ノ季節的分布ヲ見ルニ冬季一、二月頃ニ最少ヲ示シ晚秋九月ニハ屢豪雨ノ襲來ニ遇ヒテ最大ニ達ス十月ニ至リ急ニ其ノ量ヲ減シ更ニ